

# 令和2年度 瑞穂市立穂積北中学校 学校経営構想

【瑞穂市の教育の方針】  
 豊かな心と未来を切り拓く力  
 をはぐくむ教育  
 ・生きる力を育む  
 ・学校教育目標の具現  
 【重点活動】  
 あいさつのまち みずほ  
 読書のまち みずほ  
 英語のまち みずほ

【学校の教育目標】  
**自立 自ら動く**  
 ～ 創り出す  
 思いやる  
 鍛え合う ～

【生徒の実態】  
 ○規律を守り、落ち着いた生活を送ることができ、何事にもまじめに取り組める。  
 【願う姿】  
 ・自分から取り組む姿  
 「自信と誇り」が持てる。  
 ・仲間と共に取り組む  
 「敬意と感謝」の気持ちを持てる。  
 ・困難や壁を乗り越えるたくましさを持つことができる。

【めざす生徒の姿】  
 ～自分の未来を自分の手で切り拓くことができる生徒～  
 「主体性」と「社会性」と「たくましさ」の育成

**主体性の育成**  
 自分の夢や希望、目標を持ち、その実現に向け、自分から動き出し、自分の力で最後までやり抜くことができる

**社会性の育成**  
 多様性を理解し、互いの意思を尊重しながら、認め合い、支え合い、磨き合って集団の向上に努めることができる

**たくましさの育成**  
 困難や壁にぶつかっても、克服したり乗り越えたりできるたくましい心や強い意思を備えることができる

【指導の重点】  
 1 すべきことがわかり、当たり前のできる生徒の育成 「日常生活の充実」  
 2 安全に生活できる環境と安心して生活できる関係づくり 「安全・安心」  
 3 穂北4つの軸(挨拶・合唱・環境・授業)で集団の質を高める 「自治力・自浄力」  
 4 活動の「意味とねうち」を常に意識して指導する 「活動の意味づけ、価値づけ」  
 5 生徒に軸足を置き、生徒の目線に立ち、寄り添った指導に徹する 「受容と毅然」

## 教育活動の重点 穂北「夢プロジェクト」10プラン

- |                   |           |              |
|-------------------|-----------|--------------|
| 1 学力の向上           | 2 あいさつの充実 | 3 自治力・自浄力の育成 |
| 4 キャリア教育の充実       | 5 読書活動の充実 | 6 人権・道徳教育の充実 |
| 7 MSJ活動の活性化       | 8 教育相談の充実 | 9 特別支援教育の充実  |
| 10 学校運営協議会との連携と協働 |           |              |

【教職員の構え】 生徒に軸足を置いた教育で信頼される学校をつくる  
 (1) 生徒が安心して生活し、落ち着いて学ぶことができる環境をつくる  
 (2) 保護者の思いや願いを大切にする  
 (3) インクルーシブ教育に心がける  
 (4) 組織を生かし、組織で動く チーム穂北 の一員としての自覚をもつ  
 (5) 先生が元気になる

## 教育活動の重点 穂北「夢プロジェクト」10プランの具体

### 1 学力の向上

- (1) 教科指導の充実 研究推進委員会 + 教科指導部会
  - ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
  - ・「つなぐ」指導を取り入れた授業改善
  - ・定着状況の見届け・終末の工夫「できた」「分かった」「学ぶ喜び」の実感
  - ・相手意識のある言語活動の充実
  - ・ICTの効果的な活用
  - ・授業アンケート 年1回実施
- (2) 学習委員会の取組
  - ・「めざす授業」を軸にした生徒と教師による授業づくり
  - ・学習委員・教科系の育成 授業づくりの担い手としての自覚と役割
- (3) 家庭学習の充実
  - ・自主学習ノート&家庭学習時間
  - ・家庭学習の方法 手引き・改訂
  - ・個に応じた指導や配慮
- (4) チャレンジ学習の充実
  - ・全員参加 チャンスに挑戦

### 5 読書活動の充実

- (1) 朝読書の実施 10分間 本に慣れ親しみ、関心意欲を高める。
- (2) 生徒会とともに、図書館の活用を推進し、本に対する意識の向上を図る
- (3) 家庭における読書の推奨

### 8 教育相談の充実

- ・不登校・いじめに対する対応の強化 未然防止 即対応 再発防止・・・報・連・相・Q.Uおよび生活アンケートによる実態把握
- ・チーム力の向上 (SC・S相・外部機関との連携)
- ・教育相談委員会、ケース会での情報共有、行動連携

### 2 あいさつの充実

- (1) 仲間、学校、地域など人がつながる気持ちのよいあいさつの励行 (時と場に応じた挨拶)
  - (2) あいさつの意味指導の徹底
    - ・敬意と感謝の気持ちを表す。
    - ・人と人とのつながりを深める。
    - ・気持ちを切り替え、規律を作る。
- ※生徒会やMSJによる生徒の主体的な活動の位置づけ
- (3) あいさつの日の活用

### 6 人権・道徳教育の充実

- (1) 特別の教科道徳の授業改善 道徳の公開授業 年1回
  - 量的確保 35時間の確実な確保
  - 質的転換 道徳的価値に向き合い、考え、議論する道徳教育への転換
- (2) 人権教育の充実
  - ・人権週間の実施
  - ・穂積北中学校人権宣言の活用
  - ・ネットプロミスの活用

### 7 MSJ活動の活性化

- MSJを軸にして、ボランティア活動を学校内外で展開していく。
- ・あいさつ活動の工夫と充実
  - ・地域貢献活動の呼びかけと充実

### 3 自治力・自浄力の育成

生徒会活動と学年・学級の活動をつなげて全校的な活動を展開する

- (1) 生徒会活動の充実
  - ・4つの軸 (挨拶・合唱・環境・授業) の充実
- (2) 常時活動・日常生活の充実 委員会活動を軸とした班活動のさらなる活性化
  - ① 顧問会による活動の充実と連携
  - ② 縦割りの活動の工夫と改善 ※生徒の手で創り上げる 体育祭・合唱祭・穂北継承会
- (3) 朝の会・帰りの会の改善
  - ・リーダーの育成

### 4 キャリア教育の充実

- (1) 進路指導の充実 付けたい力 (基礎的・汎用的能力) の明確化 指導と評価
- (2) 夢講話の実施 年1~2回
- (3) 総合的な学習の時間の見直しと充実
  - ・地域探検 (職場訪問)
  - ・職場体験
  - ・東京研修 (企業訪問等)
  - ・模擬会社等の活動の推進

### 9 特別支援教育の充実 意識改革

- 「その人らしさを認め合いながら共に生きる学校・学級」
- ・一人一人の教育的ニーズに応える支援体制の充実
  - ・全職員による共通理解と支援体制の強化
  - ・全職員の専門性の向上 校内研修

### 10 学校運営協議会 (コミュニティースクール) との連携・協働

- (1) 学校間、家庭、地域において、願う姿や9年間を見通した教育のねらいや活動を共有し、一層の連携を図る
- (2) 地域の教育力や人材、人脈を生かした効果的な教育活動や小中学校による連携・協力して行う活動を明確にし、協働していく (重点: 安心・安全な地域づくり)